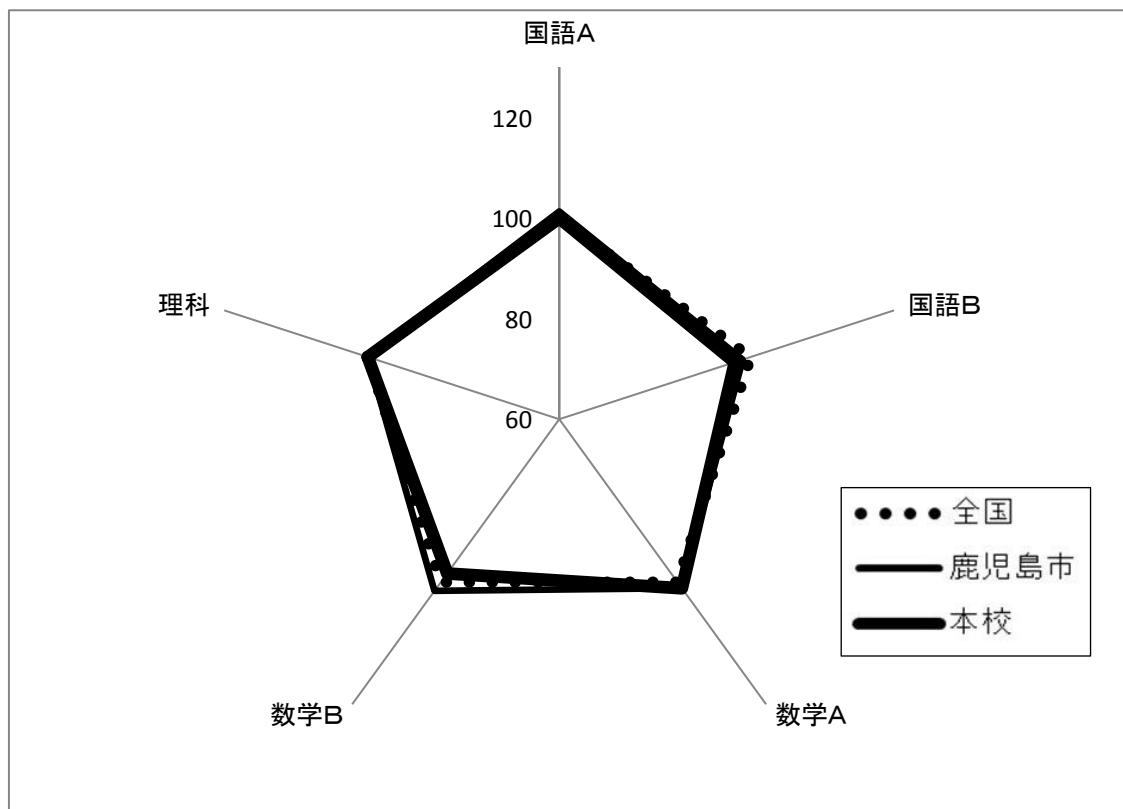


平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

天保山中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とするレーダーチャート 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

書くことや伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、全国と同程度であるが、読むこと、聞くこと、話すことについて課題が残りました。授業において、対話的な活動を増やすなどの対策により、向上を図っていきます。

〈数学〉

数と式や資料の活用については、全国と同程度であるが、関数と図形について課題が残りました。基本的な事項の確実な定着を図り、苦手傾向のある問題等を繰り返し行うなどの手立てにより、改善を図りたいと思います。

〈理科〉

生物的領域と地学的領域について、やや全国よりも劣るものの、全体的には全国とほぼ同程度である。授業では、観察や実験を通して気づいたことや感じたことなどについて、互いに説明し合う場面等を多く設定し、科学的な思考が深まるよう努めていきます。

〈全体的に〉

学校では、基礎的・基本的な学力を定着させ、思考力や判断力等の向上を図るために、授業や指導方法の工夫・改善に取り組んでまいります。学校評価のアンケートでは、90分以上の家庭学習が十分には確保できていないという結果が出ています。家庭でも、学習計画や学習時間の確保にご協力をお願いいたします。